

丸山湿原群保全の会会報

(第 106 号)

発行日：平成 28 年 6 月 29 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788

臨時連絡先 090 - 1895 - 8061 (今住^{いますみ})

E-mail : maruyamashitugengun@gmail.com

梅雨本番を迎えております。各地で大雨、竜巻など様々な災害が起こっています。

丸山（西谷）周辺は本来極端に雨の少ない地域で、かつては（戦後すぐあたり）薬缶に水を入れ稲に与えていたこともあったと聞きます。（亡くなったうちの親父が実際やっていたようです。）そんな地域ですが、最近は大きな土砂崩れや河川の氾濫がたびたび起こっております。第5湿原へ向かう沢沿いの崩落も一例でしょう。

湿原誕生の過程でもあるのかもしれませんが、極端な例が多くなってきていると思います。

湿原に水は欠かせませんが、大水は全体のバランスを崩す要因。気候変動がどこで止められるのか、人類にとっても最大の関心事ではないでしょうか。（話がでかい？）

(今住 6 月 27 日作成)

活動報告

★6 月 26 日（日）今回も村の協働作業のため午前は参加できていません。会員からの報告です。

8 名で活動。巡回、観察、晴。

午後は総会ということで、武田顧問も参加されました。

西谷初見？ ヤマホタルブクロ（ヤエザキ）

ホタルブクロの変種とされています。このヤマホタルブクロは名前の通り、少し山深いところに咲き高山にも分布するようです。

県 RDB に記載されていますが、「要調査種」というカテゴリーに区分され、発見例が少ない希少植物です。

よく似たホタルブクロは萼と萼の間に付属片がありそれが逆向いています。ヤマホタルブクロはそれがなく萼がいかり肩のようになっています。今回見つかったのはしかもヤエザキで非常に珍しいものです。

普通のホタルブクロは人里近くに生え、西谷では白花がたくさん咲いています。蛍の時期に咲き、この花の中に蛍を入れて遊んだのが名前の由来だとか。実際そのようにして遊んだ記録はないそうですが。色は青～紫・白と様々です。ヤマホタルブクロの方が色が濃いといわれています。



【湿原の様子】

湿原ではコバノトンボソウ（県 RDB Cランク）が咲き始めました。ラン科の植物で、地味ではありますがトンボ（イトトンボ？）が本当に飛んでいるような姿が可憐です。

よく似た名前にオオバノトンボソウ（ラン科）がありますが、これは湿生植物ではなく、林内に生えます。丸山では一般的な植物ですが、おいしいのかウサギによく食べられてしまいます。



2016年度総会の報告

日時：2016. 6. 26(日)13:00～（午前活動後） 場所：自然休養村センター2階
 会員総数25名 出席 11名 委任 11名 計22名

提出議題

1. 2015 年度活動報告
2. 2015 年度決算報告
3. 2015 年度会計監査報告
4. 2016 年度新役員選出
5. 2016 年度活動計画(案)
6. 2016 年度予算(案)
7. 提出議題及び懸案事項
8. その他、質疑応答

総会資料を先に送れなかったことを、まずお詫びもうしあげます。

水田会員の司会で左記議題はスムーズに審議され承認をいただきました。また県民局より重金さんも駆けつけていただきアドバイスも多数いただきました。感謝いたします。

参加されなかった方には、資料同封いたしますのでご確認ください。

名簿にお名前間違いがありました。名簿No.10 の小宮さんの名前真佐代が真佐子になっています。大変失礼いたしました。訂正お願いいたします。

審議の中で活動計画に話題が集中しました。

1. ①夏の湿原整備については、木本類にインパクトが強く有効、しかし暑い時期だけに安全管理が重要。

冬季の地形改変を伴う活動については、天然記念物（文化財）のため許可が必要。

- ②エントランス付近はいわゆる湿原にするのは無理。疎林（ハンノキ林）やミニ湿原が点在するようなイメージにするのがよいのではないか。

看板付近までの、イヌツゲなどの処理が先決。

面積や木が大きいので、技術的な部分での会員のかかわりには無理がある。

（できる人できない人）

2. 会員数の拡大には、現在ではITが欠かせない。まずホームページを作るべき。

北摂里山博物館運営協議会でHPの立ち上げを支援してくれる、相談しては？

早速、西村会員より連絡を入れていただき相談を始めております。8月までにはHPが立ち上がると思います。ご期待。また、会員拡大に向けご協力を。

Facebook 等も有効なツール、今後検討をしていきます。

3. 「西谷の森公園」との連携については、まだコンタクトをとっていないのでなんとも言えないですが、まずはサギソウ開花数調査などの広報をお願いできないか、今後話し合っていくことになりました。

事務局の設置場所は、現在「まちづくり協議会内」となっているが連絡先として少し無理があるため来年度をめどに移転を考える。

その他

保全活動で大切なことは何かという根本的な問題も話し合われました。

武田顧問から、「教育が一番大切」とのご意見。次世代の子どもたちが環境問題をどう考え、生物多様性をどのように維持していくか。その目的のために保全活動をするということです。

（一部私の脚色あり）

子どもたち（大人も含む）に丸山湿原群を活用して学習（遊び）してもらう工夫が必要なので
そのためにはインフラ整備（トイレや緊急対応の方法）も考えなければいけないとの会員の意見
もありました。（費用・規制等で難しい問題もあります。）

会費は今年も 2000 円と決定しましたのでよろしくお願いいたします。

いろんな意見をお持ちの方がたくさんいます。すべてが正しいとか、すべてが間違いということは決してないと思います。まだ何もできていない状況で偉そうなことは言えませんが、お互いの意見を尊重し、保全の最適解を探っていきたいと思います。

今後も参加、協力よろしくお願いいたします。

次回活動日★7月9日（土）7月24日（日）ご参加ください。10：00入り口集合です。

研修連絡（視察）三田 皿池湿原 7月10日（日）

大変急で申し訳ありませんが、本年度の研修視察を7月10日（日）に実施します。

目的地は、三田 皿池湿原です。

まだ非公開で今年度中に三田市天然記念物。来年度に県の天然記念物指定を目指しています。

「保全会」の設立を目的に、8月に観察会を企画されているようです。

今回三田市と創造協会（矢倉さん）にご無理を言い先駆けての視察が実現しました。

ご希望の方はご連絡ください。

電話でもメールでも結構です。SMS も OK。

7月5日（火）までに連絡ください。（本当に急で申し訳ありません。）

090 - 1895 - 8061（今住^{いますみ}）

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

予定	9:20	西谷自然休養村センター集合
	9:30	西谷自然休養村センター出発
	10:00	皿池湿原

現地集合も可能ですが、車の台数が増えた場合は駐車場の関係で移動距離が長くなります。
できれば乗り合わせで行きたいと思います。

（直接行かれる方には申し込み後現地地図を連絡します。）

持ち物

湿原観察グッズ一式（飲み物・長靴・他）

※会報のメール配信希望の方は

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com にご連絡ください。

会報用の原稿と画像(丸山エリア)を募集！載せたい記事、こんな発見
など、なんでも結構です。上記アカウントまで投稿お願いします。